

第2章 人権 – 自分と大切な人をまもる 授業のポイント

はじめに

この章では、日本で生活する外国人が知っておくと良い「人権」について学びます。

身の回りで起きる差別やハラスメント、性的な嫌がらせ、性的暴力などは、どんな人にとっても深刻で、心と体を深く傷つけるものです。特に、ことばや文化が異なる外国人は社会的に弱い立場に置かれることも少なくありません。自分や大切な人を守りつつ、自分自身も他者を傷つけることのないように学びましょう。

授業を行うにあたって

近年、日本でも差別やハラスメント、性的同意などについては、さまざまな媒体で情報を得ることができます。しかしこの章では、それらの情報を得るのが難しい学習者が身近な問題として自ら考えられるよう、ハラスメントの一般的な名称にこだわらずわかりやすく記載しています。また、多様な文化背景を持つ学習者が学べるように、ジェンダーや性行為などに関する考え方にも文化的な相違があることを前提としています。

この章では、出身国や日本などでの差別経験、またハラスメントなどについて具体的な例が挙げられれば、それに対してどのように感じたのか、どうすべきなのかについて意見を出し合います。具体的な例がなかなか出ない場合、あるいは個人的な意見を述べたくない場合には、無理に引き出す必要はありません。一般的にはどうなのか意見を出してもらおうと良いでしょう。教師が日本人である場合や、教師の性別によっては、発言をためらうこともあるかもしれません。また、場合によっては誤解や間違いということもあるでしょう。しかし、この章での学びを深めるため、学習者の経験や意見を否定するのではなく、共感的な態度を表明しておき、話しやすい雰囲気を作ります。また、まずは教師から経験談やニュース等をもとにした話を提供すると、学習者が話しやすい雰囲気につながります。

授業の構成と流れ

1) 導入

1 回目の授業では、「話しましょう」の活動を通して自由に意見を交わしながら、今後学ぶテーマについて紹介し、学習者自身の経験や知識を呼び起こします。2 回目以降の授業では、各用語の解説を授業冒頭に行い、その後、提示された具体例を読み取ることで、日常の中の何気ない言動が差別やハラスメントに該当する可能性があることへの気づきを促します。

2) タスク・解説

各テーマには、複数のタスクや解説が組み込まれています。タスクでは、ペアやグループでの活動を通じて思考を深めたり、自身の中にある無意識の固定観念に気づいたりすることを目指します。また、必要な知識をクラス内で読み解き、それを日常生活で活かせるよう練習するタスクも含まれます。こうしたタスクの中には、デリケートな話題を扱ったり、一般的な日本語教材ではあまり触れられない表現を用いたりするものもあります。しかし、それこそが、学習者が自分自身や周囲の人がこまった状況に直面したとき、日本語で状況を適切に表現し、対応できる力を育む練習となります。

授業の進め方 〈参考〉 90分×3回

10分	<p>1回目</p> <p>話しましょう</p> <p>Q1. あなたの国や日本には、どんな差別がありますか。</p> <p>国によって差別もさまざまだが、出身国における差別については口が重い場合もある。その際には、「外国人」「男性/女性」「病気の人」「仕事」「昔からの考え方」など、ヒントとなるキーワードを提示してもよい。</p> <p>Q2. 「男性/女性だから、〇〇したほうがいい」などと言われたことがありますか。</p> <p>そのような発言を聞いたことがあるという場合でも良いと伝え、発言を促す。あるいは、無理のない範囲で教師が自己開示し、自らの経験を話すのも良い。</p> <p>Q3. 日本で差別されたり、暴力をふるわれたりしたとき、どうしたらいいか知っていますか。</p> <p>この章では、相談先や相談の言い方についても学ぶことを伝える。</p>	p7
15分	<p>1 差別とは</p> <p>トニーの発言を読み、出身国との違いや、自分がトニーやその妻の場合どのように感じるのかなどについて、ペアで考え発表させる。</p> <p>学習者が出身国の家庭を想像して、「子どものせわを他の家族に頼めば良い」と考える可能性がある。その場合には、日本では祖父母や親せきと同居する大家族が一般的ではなく、子どものせわをするのは基本的に両親のみであることが多いことを伝える。</p> <p>→実際の授業では、アルバイトや交通事故等での経験を話す学習者が多かった。</p>	p7

<p>25 分</p>	<p>タスク 1 (ペアまたはグループ)</p> <p>ペアまたはグループでなるべく多くの例を出させて発表させる。意見が出ない場合、以下の答えの例を参考にヒントを出す。</p> <p>自分の経験だけではなく、友人や聞いたことがある話などでも良いことを伝える。</p> <p>→実際には、人種差別や性差別に敏感な学習者と、そうではない学習者がいるため、経験ではなく一般的な話になることもある。</p> <p>障がい者差別など、その他の差別が出たときも排除せずに発表させる。また、後のハラスメントや性的同意の内容に関係する可能性もあるため、差別かどうかはわからないが不愉快だったことなどを挙げても良い。</p> <p>答えの例</p> <p>A. 性差別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性／女性だから、「この仕事はできない」と言われた。 ・男性／女性だから、「この仕事をして」を言われた。 ・同じ仕事をしているのに、男性スタッフのほうが給料が高い？ ・(女性が)面接で、「結婚はいつ?」「結婚したら国に帰るんでしょう?」などと言われた。 <p>B. 人種差別</p> <p>① 仕事するとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ仕事なのに日本人より賃金が低いかも？ ・就職を断られた理由…外国人だから？ ・外国人だから、仕事をやめさせられた？ ・「ガイジン」と言って、ひどいことを言われた。 ・日本人は休んでいるのに、外国人は休みをもらえない。 ・日本人もおしゃべりしているのに母語で話すのを禁止された。 ・もっとスキルアップしたいのに、仕事をさせてもらえない。 ・お客さんに「外国人ではなく日本人スタッフにしろ」と言われた。 <p>② 生活で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋を借りたいのに、外国人は住めないとされた。 ・病院で、日本語がわからないからと言われ、きちんと説明してもらえなかった。 ・交通ルールを守っていたのに、事故のときに、「外国人なんだからあなたが悪いに決まっている」と言われた。 	<p>p 8</p>
-------------	---	------------

<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で話しているのに、返事をしてもらえない。 ・外国人だからという理由で、学校で子どもがいじめられている。 <p>2 差別されたと思ったら</p> <p>枠の中の例を学習者と一緒に読み、以下を教師が説明し、確認する。</p> <p>「してはいけないこと」</p> <p>がまんすると心の病気を引き起こす可能性もある。また、「けんかをします」といった意見が出ることもあるが、けんかをすると加害者になり、より不利な立場に置かれる可能性がある。</p> <p>「すること」</p> <p>同僚や上司に相談する、あるいは第三者である先生や相談センターの人などに客観的にアドバイスをもらうことで、差別を受けた状況を言語化し、明確にすることができる。また、日本語に不安がある場合、母語で相談できることを伝える。</p>	<p>p9</p>
<p>30分</p>	<p>タスク2（各自）</p> <p>トニーと課長の発言を学習者に読ませ、意味を確認する。</p> <p>差別された経験を日本語で説明するのは難しい場合がある。</p> <p>「相談のポイント」を確認し、簡潔に、明瞭に説明できるように書くよう指導する。「いつ」「どうしてほしい」など、トニーの発言中にない部分は、自分で考えて書くように指示する。</p> <p>書いたものを、第三者に説明するという設定で発表させる。</p> <p>答えの例</p> <p>先週の面談のとき、課長と話しました。わたしは、今の仕事になれてきたので、新しい仕事をしてみたいと言いました。でも、課長は、「あなたは日本人じゃないから、この会社でスキルアップするのはおもしろくないよ。ほかの会社に行ったらどう？」と言いました。日本人じゃないから、スキルアップできないのはおかしいと思います。まだ、だれにも相談したことがありませんが、どうすればいいかわかりません。</p> <p>わたしは会社をやめたくないです。でも、スキルアップできなかったら、給料も上がらないのでこまります。</p>	<p>p10</p>

<p>10分</p> <p>20分</p>	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2回目</p>	<p>p11</p>
<p>3 ジェンダー</p>		
<p>法律家とジェイの発言を学習者に読ませて意味を確認する。</p> <p>生物学的な性別（SEX）とは異なり、社会の中で決められた役割としての性別がジェンダーであることを説明する。</p> <p>実際に、「女らしさ」「男らしさ」はどんなところに表れているのか問いかける。</p> <p>→実際の授業では、ジェンダーについての価値観がかなりステレオタイプ化して意見が出てこなかったこともあった。そのため、考えるきっかけとして、男性保育士の写真などを見せたり、日本の小学校のランドセルの色や制服の変化（ジェンダーフリー）などについて触れたりした。</p> <p>日本もジェンダーの考え方が固定化していることがあることを意識し、以下の例のようにステレオタイプのコメントにならないように気をつける。</p> <p>例)「先生は、どうして日本人の女性は仕事をやめると思いますか」などという学習者からの問いに対し、「日本ではお母さんになるとご飯を作ったり、子どもを世話したりしないといけないからです」などと答えると、さらに固定観念を強めてしまうことになる。</p>		
<p>タスク3（全体またはペア）</p> <p>「あなたは男の人（だから・なのに）」「あなたは女の人（だから・なのに）」に続く文を自由に考えさせた上で書かせる。また、それを言われたらどのように感じるか、どのように感じる人がいるのか、そのような考えがなくなることで良くなることをクラスで話し合う。意見が出にくい場合、ペアで考えさせる。</p> <p>意見がなかなか出ない場合、「どちらかの性別のイメージが定着している職業」「家事育児の役割分担」「好きな仕事」「好きな色やファッション」などのキーワードを提示する。</p> <p>→実際の授業では、書くことをためらう学習者もいるため、「あなたの考えではなくても良い」「昔の考え、家族や友だちの考え、あなたの国で言われていることなどで良い」ということを伝える。</p> <p>答えの例 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな服や髪型にできたらうれしいし、嫌な気持ちにならない。 		

20分	<ul style="list-style-type: none"> ・したい仕事を、だれにも悪く言われずにできる。 ・したい仕事をあきらめなくてもいい。 ・家事や子育てを、母親だけではなくてみんなでできる。 ・(社会全体についても)女性のチャンスが増えると、いろいろなアイデアがでるので、社会が発展する。 <p>タスク4 (各自)</p> <p>ジェンダーチェックリストを個人で読んでチェックさせる。少しでもその考えがあるときはチェックするように伝える。</p> <p>タスク5 (各自→ペアまたはグループ)</p> <p>各自でチェックをし、数を数えてみる。その後、ペアやグループなどで、どんな意見の違いがあるのか、どんな共通点があるのか話し合う。</p> <p>日本語レベルに応じて、いずれかの項目を取り上げてディベートをするのも良い。</p> <p>これらの社会的役割については文化的影響が大きいため、「古い考え方だ」「それは間違いだ」といったコメントは、指摘の仕方によっては学習者が不愉快に感じる場合もある。ジェンダーについても多様な考え方があり、ジェンダーにこだわった考え方を他者に押し付けると不愉快に感じる人がいることを伝える。また、日本では社会の動きとして「ジェンダーフリー」になりつつあることを改めて伝えても良い。</p>	p12
5分	<p>4 性的同意</p> <p>性的同意についての説明をクラスで読み意味を確認する。</p> <p>「性的同意」は、性行為のときに、自分自身も相手もそれをしたいかどうか確認すること。</p> <p>セックスだけではなく、キスやハグ、体を触ることなども性行為にあたる可能性があることを伝える。体への接触やキスなど文化によっても意味が異なるため、特に相手が異なる文化背景を持つ場合には、さらに注意が必要になることを伝える。</p> <p>Bさん(Aの恋人)の発言を学習者に読ませ、意味を確認する。</p>	p13
10分	<p>タスク6 (ペアまたは各自)</p> <p>Bさんの発言についてどう感じるか、ペアで話し合いするように指</p>	

10分	<p>示し意見を発表させる。</p> <p>無理強いせず、自分だったらどのような気持ちになるのか、あるいはAさん／Bさんの気持ちはどうか、学習者が話せる範囲で話すように伝える。無理にペアにする必要はなく、個人で考えても良い。かならずしもクラスで共有する必要はなく、話せる学習者のみで良い。</p> <p>タスク7（各自）</p> <p>性的同意についてのチェックリストに個人で答えさせる。</p> <p>チェックリストの項目に一つでもチェックが入れば「性的同意」が取れていないということを伝える。</p> <p>性的同意の理解が難しい場合、「Tea Consent」という動画を参考にしても良い。</p> <p>「Tea Consent」</p> <p>（英語版：https://youtu.be/oQbei5JGiT8?si=E5MQItR2moX0eaYJ）</p> <p>（日本語版：https://youtu.be/-cxMZM3bWy0?si=v15hqu2fxCCaCb6j）</p> <p>夫婦でも同意のない性行為はドメスティックバイオレンス（DV）となることなどを挙げ、どのような関係でも同意が必要であることを伝える。</p>	p14
15分	<p>5 相手にどう伝える？</p> <p>性的同意についてのポイント①～④を学習者に読ませて意味をクラスで確認する。</p> <p>タスク8（各自）</p> <p>ポイントを学習者に読ませてクラスで確認した上で、実際に性的同意をとって性行為をしたいときに、日本語ではどのような言い方ができるのかを考える。</p> <p>発表させる必要はないので、自分で考えさせて、教師から例を示すなどする。</p> <p>→実際の授業では、以下のような例が出るのは難しく、学習者のレベルに応じた短いことばで記入していることが多かった。</p> <p>〈同意の取り方例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたし／ぼくはセックスしたい。でもあなたがしたくても、したくなくても、大好きだよ。 ・途中で嫌になったら言ってもいいよ。 	p15

	<p>・あなたが準備できるまで、わたし／ぼくは待つよ。</p> <p>〈断り方例〉</p> <p>・大好きだけど、今日はしたくないかな。</p> <p>・(どうしても断りにくいとき)今日は体調が悪い。</p> <p>・キスはしてもいいけど、セックスはしたくない。</p>	
--	---	--

	<p>3回目</p> <p>6 ハラスメント</p>	
5分	<p>Aさん・Bさん・Cさんについて学習者に読ませ、学習者自身や知り合いに同じような経験をした人がいないかクラスに問いかける。</p>	p16
15分	<p>タスク9 (ペア)</p> <p>3人にハラスメントをしたのはだれか、なぜ3人は我慢したのか、ペアで考えさせ、クラスで発表させる。</p> <p>「どうして我慢したのか」に対する解答の中には、「立場が上だから仕方がない」「仕事でミスをしたから仕方がない」といったような意見が出る可能性があるが、これらは人権を大切にするうえでは害となりうる思考であり、この章で学ぶ知識によって、それらの思考や価値観を手放す「学び落とし (unlearn)」をする必要があることを伝える。</p> <p>答え「ハラスメント」をした人は、だれですか。</p> <p>Aさん…店長</p> <p>Bさん…お客さん</p> <p>Cさん…恋人</p> <p>答えの例 どうしてがまんしたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語が上手ではないし、仕事があまくできないから。 ・店長だから文句が言えないから。 ・仕事をやめさせられるかもしれないから。 ・お客さんだから文句が言えないから。 ・恋人だから。 ・恋人が自分のことを好きだから。 	p17

20分	<p>タスク 10 (ペアまたはグループ)</p> <p>ペアまたはグループで話し合いをさせ、どのような例があるかできるだけたくさん挙げてもらう。</p> <p>あまり意見が出ない場合、答えの例を参考にヒントを出す。学習者がハラスメントだとは思っていないことがハラスメントにあたる場合もあるため、発表させるなどしてクラスで共有する。</p> <p>答えの例</p> <p>(1) たたく、なぐる、ける、腕や髪を引っ張る、ものを投げる、ものでたたく、なぐるふりをする、ケガや病気のとときに病院に行かせない</p> <p>(2) 大きい声で怒鳴る、大きい音を出してドアを閉める、おどす、「馬鹿」「あほ」などひどいことばを使う、日本語がわからないときやまちがったときに笑ったり怒ったりする、言いたいことを言わせない、無視する</p> <p>(3) 電話やメール・SNS をチェックする、友だちや知り合いに会えないようにする、好きなときに外に出かけられないようにする、学校や会社以外の人と付き合わないように言う、自分が言うことだけを聞くように言う</p> <p>※助けを求められないようにする、周囲の人との関係を絶たせることを含む</p> <p>(4) 給料をわたさない、仕事をさせない、よく説明しないでお金を払えという、学費などを払っても学校が領収書をわたさない、書類に書いてある給料をわたさない、働く人が知らないところで、会社や学校がお金を管理する、無理やり仕事をやめさせる、一方的にものを買わせたり、食事代を払えと言ったりする</p> <p>(5) 性的なことを話題にする、ポルノなどを無理やり見せる、胸や体を触る、許可なく写真を撮る、相手が恥ずかしがる写真を SNS にのせる、頼まれたことをしてあげたとき、かわりに性行為を求める、同意していない相手と性行為をする、避妊に協力しない、無理やり中絶させる、子どもができないことを責める、妊娠してはいけないと言う</p>	
15分	<p>タスク 11 (ペア)</p> <p>Cさんの恋人の考え方を学習者に読ませ、クラスで意味を確認する。その上で、その考えの何が悪いのかペアで話し合いをさせ、クラス</p>	p18

20分	<p>で意見を共有する。</p> <p>Cさんの立場だけを一方的に考えるのではなく、Cさんの恋人の考え方についても触れることで、両者の認識のずれ違いを具体的に考える。</p> <p>→実際の授業では、Cさんの恋人の発言内容について、それほど悪いと思わない学習者も少なくなかった。このような場合、Cさんの気持ちをもう一度確認し、何に気をつけるべきなのか、専門家のアドバイス1～3をしっかりと確認することが重要である。</p> <p>7 ハラスメントから自分と大切な人をまもるために</p> <p>タスク 12 (各自またはペア)</p> <p>3人に対するアドバイスを通じて、自分や身の回りの人がハラスメントにあった場合、どのように考えるべきか、どのようにふるまうべきかを考えさせる。</p> <p>各自で考えて記入させるが、難しい場合にはペアで考えさせる。実際にアドバイスをしているという設定で発表させる。</p> <p>答えの例</p> <p>Aさん…日本語ができなくても、仕事でミスをして、たたくのは悪いことです。Aさんがけがをしてしまいますから、他の社員の人に相談しましょう。</p> <p>Bさん…お客さんでも、そんなひどいことをしてはいけません。店長に相談しましたか。店長があなたを守らなければなりません。</p> <p>Cさん…恋人はCさんの友だちを大切にしないのに、本当にCさんのことが好きですか。あなたは、もう子どもではありませんし、恋人はあなたのお父さんやお母さんじゃありません。みんなであなたの恋人と話しましょうか。</p>	p18-19
15分	<p>タスク 13 (ペアまたはグループ)</p> <p>ハラスメントをうけている人を守るための行動をペアまたはグループで考えさせて発表させる。その際、5つのDのキーワードを参考にして考えさせても良い。</p> <p>発展的内容として、以下のように行っても良い。</p> <p>①5つのDについて、本文中に掲載の動画(「Active bystander」)</p>	p20

	<p>を視聴した上で、それぞれ動画の中で具体的にどのような行動をとっていたのかを学習者に問う。</p> <p>②店長に大きい声、ひどいことばで叱られているAさんに5つのDを実践する場合、どのような行動をとればよいのかを考えさせる。</p> <p>その際、本文中に記載されている注意点（安全の確認、グループでの行動、こまっている人への気遣い、プライバシーへの配慮など）にも留意させる。</p>	
--	---	--